

第16回 チャイコフスキー国際コンクール 優勝!

44th
Nagoya
Classic Festival
2026

アレクサンドル

ピアノ

Alexandre Kantorow

カントロフ

リサイタル

PIANO RECITAL

作曲家の音世界へ瞬時に連れていく、高解像度のピアノリズム

いま絶対に聴いておきたい、注目のピアニスト!

リスト:

J.S.バッハのカンタータ
「泣き、嘆き、悲しみ、おののき」
BWV12による変奏曲 S180

モネル:

ピアノ・ソナタ 第1番 へ短調 op.5

ショパン:

前奏曲 嬰ハ短調 op.45

ベートーヴェン:

ピアノ・ソナタ 第32番 ハ短調 op.111

ほか

2026.

11.25(水)

18:45開演(18:00開場)

愛知県芸術劇場
コンサートホール

S¥9,000 A¥8,000 B¥7,000
C¥6,000 U26¥2,000

【U26チケット】公演当日26歳以下の方対象。
入場時に年齢を証明できるものをご提示ください。
※未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断りいたします。

プレイガイド

Chuチケ:052-308-8282

チケットぴあ:(Pコード:315-133) (平日11:00~17:00)

イープラス
芸文プレイガイド:052-972-0430

お問い合わせ

中京テレビクリエイション

☎052-588-4477 (平日11:00~17:00)



主催: 中京テレビクリエイション

※プログラム内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

©Sasha Gusov

カントロフはリストの生まれ変わりだ!

第16回チャイコフスキー国際コンクールで22歳にしてグランプリを獲得、フランス人ピアニストとして史上初の快挙を成し遂げ、飛躍的に注目を集めたアレクサンドル・カントロフ。

ピアノを最大限に響かせるパワー、

そして透明感のある音も奏でる絶妙なコントロールと表現力!

2025年のロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団の来日公演では

クラウス・マケラ指揮のもと圧巻の演奏を繰り広げ、まさに破竹の勢いで進撃中。

いま最も熱く、目の離せないピアニスト!

PROFILE

アレクサンドル・カントロフ(ピアノ) Alexandre Kantorow, *piano*

22歳で挑んだ2019年のチャイコフスキー国際コンクールにおいて、フランスのピアニストとして初めて優勝。ゲルギエフ指揮マリインスキー劇場管、パツパーノ指揮ベルリン州立管、マケラ指揮コンサートヘボウ管、ほかにもパリ管、フィルハーモニア管、ミュンヘン・フィルなどと共演を重ねる。2023/24年シーズンにはベルリン・フィル(ソビエフ指揮)にデビューを果たした。アムステルダム・コンサートヘボウ、フィラルモニー・ド・パリ、ベルリン・コンツェルトハ

ウス、カーネギーホールをはじめとする著名ホールで演奏し、ヴェルビエ、ラヴィニア、BBCプロムスなどの国際音楽祭に出演。室内楽にも精力的で、2022年からニーム国際音楽祭のアーティストック・ディレクターを務めている。

数々の録音はディアパゾンドールやショク賞などを獲得し、2019年にはフランス批評家協会賞の年間最優秀新人音楽家部門を受賞。2020年には、サン=サーンスの協奏曲アルバムでヴィクトワール・ド・ラ・ミュージック・クラシックの年間最優秀録音部門と年間最優秀器楽ソリスト部門を同時受賞するという快挙を成し遂げた。

2024年のギルモア・アーティスト賞を受賞。2025年のグラモフォン・クラシック音楽賞でピアノ部門賞を受賞。パリ・オリンピックの開会式でも演奏した。

Alexandre Kantorow